

ほうふ
Hofu

発行／防府市議会

編集／議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/sigikai/>

市議会だより No.24

平成24年2月15日



金切神社(西浦)

12月定例議会

議案の概要 P2
一般質問 P5～P10
常任委員会の報告 P10

視察報告 P11
総合交通体系調査特別委員会の報告 P11
議会日誌 P12
3月定例議会の予定 P12

議会中継（ライブ・録画）がホームページで見られます!!

平成23年 12月 定例議会

12月定例議会は、11月30日から12月22日までの会期23日間の日程で開催されました。

平成23年度一般会計・特別会計補正予算をはじめ、市奨学金条例・職員の給与に関する条例の一部改正など、議案25件、選任4件、許可1件、承認1件、報告3件、決議2件を審議しました。

また、議長の辞職により、新たに安藤二郎議員を選出し、各常任委員会の正副委員長及び議会運営委員会委員の選任も行いました。

主な議案等とその審議経過の概要をお知らせします。

条例

■職員の給与に関する条例の一部改正

人事院の国家公務員給与の改定の勧告に準じて、本市の一部職員の給与が0.2%減額されました。

相次ぐマイナスの給与改定は、職員の方にも影響してくるので賛成しがたいとの意見がありましたが、賛成多数で可決しました。

（4ページ表の賛否No.2を参照）

■特別会計の条例の一部を改正

同和地区住宅資金貸付事業の特別会計を廃止しました。

■市奨学金貸付条例の一部改正

奨学金の貸付金額を奨学生1人につき、月額2万円から3万円に増額されました。

また、返還期間は、貸付を受けた期間の2倍の期間内であったのが2.5倍の期間内に延長されました。

この条例は平成24年4月1日より施行されます。

人事・一般議案

■固定資産評価審査委員会委員の選任

再任 村武俊宏さん（国衙3丁目）
再任 松田光則さん（大字西浦）
新任 福田昭二郎さん（大字上右田）

■監査委員の選任

新任 中村恭亮さん（東松崎町）

■公平委員会の選任

新任 山根憲一さん（大字西浦）

■選挙管理委員会委員の選任

伊藤賢治さん（大字下右田）
齊藤清子さん（警固町2丁目）
竹屋勝典さん（大字西浦）
林 伸彦さん（大字台道）

■松崎小学校と新田小学校の給食の調理業務を、それぞれ西日本フード株式会社・新東ヒューマンサービス株式会社と委託契約しました

契約期間は、平成24年4月1日から平成29年3月31日までの5年間です。

契約金額は、それぞれ、6,825万円、6,720万2,100円です。

■浄化センターの最終沈殿池の機械設備の改築契約をしました

契約の相手方は扶桑工業株式会社、契約金額は1億2,055万8,500円です。

■市環境基本計画が策定されました

本計画は、市民、事業者、行政のすべての者が協働して、環境の負荷が減らされた豊かなまちづくりをめざすこととし、「自然と調和のとれた環境の創造、明るい・豊かな・健やかな郷土の継承」を基本目標にしています。

■第2次防府市生涯学習推進計画が策定されました

本計画は、「豊かな学びでつながる、人と地域が元気なまち、防府」を基本理念に、市民のたれもが、いつでも、どこでも、自分自身の目的にそって、生涯にわたり主体的に学ぶことができることに、豊かな学習活動を通じて、自らを高めながら人や地域とのつながりを深め、習得した知識や技能を地域づくりに生かすことのできる活気あふれる元気な生涯学習のまちを目指すものです。

※この2つの計画を有効あるものとするため、必要な財政上の措置を講じるよう、また、国・県等の支援制度を積極的に活用するよう議会から修正案が出され、可決しました。

■指定管理者の指定

地域協働支援センターは、公募の上、平成28年度までの5年間、特定非営利活動法人「市民活動さぼーとねっと」が管理します。

予算

■平成23年度一般会計補正予算

一般会計補正予算で1億4,296万3千円が追加されました。主な内容として、歳入では、国・県負担金や児童手当及び子ども手当特例交付金の増額、歳出では、民間保育所の耐震補強工事の補助

議長就任あいさつ



議長
安藤二郎

昨年12月議会におきまして、第39代議長に就任させて頂いたできました。誠に身に余る光栄であり、その重責を痛感しているところでございます。本市の発展並びに住民福祉の向上を目指して、誠心誠意努力してまいり所存でございます。

さて、本格的な地方分権へ向けて本議会では、昨年4月、議会基本条例を施行いたしました。5月には市民の皆さんのご協力を得て、議会報告会を、さらにインターネットによる議会中継、議会モニターの採用等実施してまいりました。今後は、市民の皆さんと共に、開かれた議会、協働する議会を目指し、さらなる議会改革に努めてまいりたいと思っております。

引き続きまして温かいご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

金、タマネギの生産拡大や組合員の高齢化対策、人件費縮減のため、関連機械を導入する農事組合法人に生産機械の整備補助金、障害者・訓練等給付事業の増額等が計上されています。歳入歳出予算の総額は、374億4,079万7千円です。

■平成23年度特別会計補正予算

特別会計の補正予算規模は、140万円の増額で、青果市場事業に係るもので、補正後の予算額は467億3,695万4千円となっております。

なお、140万の歳出は厨房施設の補修費です。

決議

■学校給食配送用車両購入に関する予算の執行を求める決議

今年3月市議会定例会における平成22年度一般会計補正予算の審議において、随意契約による契約延長が問題視され、今後の学校給食配送業務のあり方について、4月以降4回、教育民生委員会において所管事務調査が実施されました。

9月市議会定例会では、一般会計補正予算として、学校給食配送用車両購入に伴う経費2,788万1千円と配送業務委託の債務負担行為1億2,338万円が計上されていましたが、民間委託よりも直営の方が安価であるとして、債務負担行為を削除する修正案が可決されました。

その際、民間委託、直営のいずれの場合も配送用車両は必要となるため、配送用車両購入経費については、原案のまま可決されました。

ところが、10月市議会臨時会で再度提案された学校給食配送業務委託の債務負担行為についての教育民生委員会における閉会中の審査のなかで、9月市議会定例会で予算化されたこの車両購入予算は執行を止められ、来年3月末までの納車は不可能であることが明らかになりました。

これにより、市教育委員会が考える有力な選択肢は、来年度も今年度の受託業者である日本通運株式会社防府支店と随意契約により給食配送業務を実施することであるということも明らかになりました。これら一連の経緯は、次の点で問題です。①給食の配送が競争入札による民間委託であれ、直営であれ、来年4月からの給食配送に配送用車両は不可欠であり、車両購入にストップをかけるということは、4月からの給食配送に混乱をもたらすことは明白であり、市民に対する背信行為である。また、防府市自治基本条例の第11条（市長を除く執行機関の役割と責務）及び第12条（市の職員の責務）に定める「公正かつ誠実」な事務・職務の執行とはいえないものである。②このまま推移すれば、今年の3月市議会定例会で問題視された随意契約を、さらに継続することとなる。また、配送用の車両を所有している業者が他にいないから随意契約をするという手法は、細かな経緯

は異なるものの昨年の3月市議会定例会で百条委員会を設置した災害土砂処理の随意契約と類似したやり方と言わざるを得ないものであり、特定の業者に有利な形にすることは、行政の公平性の確保という点からも問題がある。

したがって、防府市議会は、防府市教育委員会が9月市議会定例会で予算措置された配送用車両の購入手続きに直ちにとりかかり、来年4月からの給食配送業務に万全を期することを求める。（賛成多数で可決。賛否No.3）

■平成24年度からの学校給食配送業務の円滑な運用を求める決議

平成24年度からの学校給食配送業務の在り方については、9月市議会定例会で、民間委託よりも直営の方が安価であるとして、債務負担行為が削除されました。

これを受けて、10月19日開催の市議会臨時会に同じ内容の議案が再提案され、教育民生委員会で、閉会中の審議が2回行われましたが、執行部の説明は、9月議会における説明と同様のものでした。

このため、今議会初日に、再度、債務負担行為は否決されました。

また、審議の過程で、執行部は、新規配送用車両の購入は民間委託が前提と考えられており、これが認められない限り発注しない、さらに、たとえ、今から発注しても、来年3月末までの納車は不可能で、来年度も今年度と同様に受託業者である日本通運株式会社防府支店と随意契約するの有力な選択肢との見解を示しました。

このため、議会は、①競争入札による民間委託であれ、直営であれ、配送用車両は不可欠であり、車両購入をしないことは、給食配送に支障を来し、市民に対する背信行為である。また、防府市自治基本条例に定める「公正かつ誠実」な事務・職務の執行に反するものである。

②このまま推移すれば、職員の不作為により2年続けて随意契約による配送を行わざるを得ないことが想定され、公正かつ適正な契約を定めた地方自治法や防府市財務規則に反する。として、学校給食配送用車両購入に関する予算の執行を求める決議を行いました。

しかし、その後も執行部が全く行動を起こさなため、議員有志が非公式に日本通運株式会社防府支店幹部と話し合いを持った結果、日本通運としては、現有車両の走行距離は3万km程度で、これを廃棄することは無駄であり、配送業務が業者委託、市直営いずれの場合も市に売却することに全く異存はないとの見解を頂いたところであります。

一方、配送に要する経費の比較については、執行部は業者委託に係る所要経費に対し、直営であれば、新たに正職員の増員、夜間の車両監視システムや運転士詰所の設置が必要となり、委託の方が安価であるとしています。これらは果たして必要か疑問が残るところであり、これらを除いた残余の経費では直営の方がはるかに安価となっています。

そして残念なことに、業者委託経費については、当初提案時から全く変更され

ていません。

このまま執行部が頑迷な態度をとり続けるならば、来年4月からの給食配送業務に支障をきたす事になりかねず、憂慮するものである。

従って、防府市議会は、配送用車両について日本通運株式会社に対し譲渡要請するとともに、早急に委託料の積算内容の再検討を行うなど、再度、業者委託と直営のどちらが安価か真摯に検証することにより、来年4月からの給食配送業務に万全を期することを求める。（賛成多数で可決。賛否No5）

市長行政報告

■離島航路定期船「ニューのしま」の乗揚げ事故について

昨年11月23日午後6時頃、野島に向かう定期船「ニューのしま」が、野島近海でエンジンが停止して東方向に流され、野島の津久美浜に乗り上げる事故が発生しました。幸いなことに、乗客の方や乗務員にけがはありませんでした。

一方、船の損傷は著しく、修理が困難な状況で、当面は、予備船「のしま」を使用して島民の皆様の生活航路を確保することとし、大破した「ニューのしま」及び老朽化著しい予備船「のしま」に代わる船を早急に調達するため、国土交通省中国運輸局に平成25年度建造予定の新船について、年度を早めて早期の建造が実現するように要請したとの報告がありました。

賛否が分かれた議案に対する議員の態度

○賛成 ×反対

賛否No	平成23年12月定例会	会派・議員名（※安藤議長は除く）																		賛否の合計		議決結果					
		明政会			絆		公明党		平成会		前進		七代会		日本共産党		民意クラブ		一灯会	市民クラブ	賛成		反対				
		大田	佐鹿	土井	弘中	松村	行重	青木	山田	高砂	山下	山根	田中敏	中林	横田	今津	斉藤	河杉	久保	木村				山本	重川	三原	藤本
1	平成23年度一般会計補正予算(中学校給食配送業務民間委託)	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	9	15	否決	
2	職員の給与に関する条例等の一部改正（職員の給与削減）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	22	2	可決
3	学校給食配送用車両購入に関する予算の執行を求める決議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	○	18	6	可決
4	市議会の議員の定数を24人と定める条例の一部改正	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	○	×	9	15	否決	
5	平成24年度からの学校給食配送業務の円滑な運用を求める決議	○	○	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	○	○	×	○	15	9	可決	

*賛否の態度が異なる議案等を掲載しています。ここに掲載していない20議案は、全会一致で可決しました。

議会運営委員会の委員名（任期1年）

委員名（◎委員長、○副委員長）	委員数	所管事項
◎土井 章 ○河杉憲二 大田雄二郎 三原昭治	9	議会の運営に関する事項・議長の諮問に関する事項等
青木明夫 今津誠一 山根祐二 山本久江 横田和雄		

常任委員会の委員名（任期2年）

委員会	委員名（◎委員長、○副委員長）	委員数	所管事項
総務	◎三原昭治 ○青木明夫 今津誠一 田中敏靖 土井 章 松村 学 山下和明 山本久江	8 (欠員1)	企画・財政・税務・消防・競輪・選挙など
教育民生	◎重川恭年 ○大田雄二郎 安藤二郎 河杉憲二 高砂朋子 田中健次 中林堅造 弘中正俊 山田耕治	9	戸籍・国保・年金・生活・健康・福祉・教育など
産業建設	◎久保玄爾 ○横田和雄 木村一彦 斉藤 旭 佐佐博敏 藤本和久 山根祐二 行重延昭	8 (欠員1)	商工・観光・農林・水産・都市計画・上下水道・住宅・道路・公園など

Q&A

一般質問



12月定例議会では、15名の議員が市政について質問に立ちました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を3月中旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館をご覧ください。また、防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、本欄は、議員本人が質疑の内容を要約したものを掲載しております。

自転車の安全走行とマナー教育、罰則、プール新設、産科医、難病

大田 雄二郎(明政会)

問 警察庁が、歩行者保護を柱とする自転車総合対策を打ち出しました。

「自転車安全利用5則により、自転車は、原則、車道を走る。歩道では歩行者優先。」という考えを徹底させるという事ですが、市の自転車安全走行とマナー教育、罰則とルール啓発について。

生活環境部長 10月25日、警察庁が自転車総合対策について、全国の警察本部を通じて、管内の警察署へ通達されました。市では、市安全会議やバイコロジー運動等でPRしてまいりました。

今後、広報・啓発をします。

問 スポーツセンターのプール新設については、7月と8月の2カ月間しか利用できないプールにするか、1年間利用できる温水プールにするか、市民アンケート実施について。

教育部長 この度、プールを閉鎖したことにより多くの市民の皆様は、大変ご迷惑をおかけしたことをお詫びします。

現時点では具体的な内容はありませんが、市プール施設整備検討委員会の提言をまとめ、平成26年を目標に建設したい。

問 産科医と産科施設の現状と、家庭医、在宅医療、難病指定について。

市長 平成22年度は約1,050件の分娩があり、市在住の方が約750件、里帰りを含め市外の方が約300件、家庭医の把握は困難。在宅医療は33病院が実施。難病指定は、県や他市状況を踏まえ対応します。



「公共事業」を見直せ!

今津 誠一(前進)

問 私はこれまで「防府市再生」という視点から、さまざまな提言をしてきた。

今回も同一の視点から、いま懸念視されている「公共事業」に光を当て、その役割と効果について再評価し、またデフレ下におけるその経済的効果についても注目し、「公共事業」によって防府市の景気浮揚並びに雇用創出を図ることを提言したい。執行部の見解は?

市長 私もまったく同感。インフラの重要性、デフレ下における公共事業の経済的意義を認識し、公共事業の着実な推進を図りたい。

紹介された京大の藤井聡教授の著書「公共事業は日本を救う」は私も読んでいます。もっともな高説と感じています。

要望 これまで国は「世界の常識」に反し、必要

な公共事業まで削ってきた。そのためインフラの増強が遅れ、経済成長が鈍化し、地方経済も大きな打撃を受けた。

国の政策「コンクリートから人へ」が変わる必要があるが、防府市単独でも公共事業費を増やす努力をして欲しい。

問 本年6月議会で私が提案し、策定することが決まった「防府市雇用創出プラン」に「公共事業による雇用創出」という一項を加えて戴きたい。

市長 極めて重要なことなので、関係機関との協議事項に加えたい。



今だからこそ、防府の活性化を!

山田 耕治(絆)

問 新まちづくり3法施行後、中心市街地の現状は?

市長 本市も商店街や中心市街地は衰退傾向にあり、法律施行後の事業評価として、中心市街地の人口等、7つの指標で判断されるとしているが、事業効果が表れていない指標としては、商店数、事業所数、従業員数の指標が、平成18年度以降減少傾向になっている。

問 市民満足度の「商業活動が活発に行われ、身近な場所ですまざまな商品を購入したり、サービスを受けた」ことができる」と思う満足度指標を向上させる施策は?

産業振興部長 中心市街地に、新たな中小企業の事業所誘致を促進するために、防府市事業所誘致促進補助金を創設している。この様な制度で活性化に結び付けたい。

問 天神口の駅通り商店

街から産業道路までの間を、一過性でなく、月1、2回の日曜日、歩行者天国にできないか?

産業振興部長 今後、関係機関と調査・研究して、中心市街地が元気になるように考えたい。

要望 歩行者天国の通りを、「幸せます通り」と命名し、その道を通って天満宮へ受験祈願等に行ってもらうのも戦略、仕掛け作りの手助けや交通機関等のサポートも含め、検討していただきたい。



フリーマーケットの様子(マツダ関連ブース)

その他の質問項目

- ◆鳥獣被害について
- ◆教育行政について

コンビニでの証明書自動交付を介護する人にやさしい社会に

山根 祐二(公明党)

問 市の住民票交付は年5万7千件、印鑑証明書交付は4万2千件あり、平日5時までに来庁は困難な市民もある。コンビニ交付サービスを実施すれば、早朝6時半から深夜11時まで最寄りのコンビニで交付が可能。市民サービス向上と窓口業務効率化のため実施してはどうか。

生活環境部長 利便性向上のサービスだと思いが、住居カードの普及率が低いことに加え、初期投資の費用、導入後の手数料や負担金、保守料を勘案すると、早急な実施は難しいため、調査、研究を行っていく。

問 下関市の状況は。生活環境部長 コンビニサービスは全国41団体が利用し、下関市が来年度導入を予定している。自動交付機と比較し、利用できる箇所数や時間帯など考慮するとコンビニ二

付の方が利便性が高いと思う。今後研究する。

問 介護する方が、介護中であることを周囲に示す「介護中カード」を配布してはどうか。

市長 認知症の方の介護は、「介護が周囲からわかりにくい」また、「誤解や偏見を持たれる場合がある」との声があり、静岡県が介護マークを作成し配布していると聞いている。カードの悪用の心配もあるので、普及と周知が必要となり、国、県レベルの取組が必要と考える。慎重に検討していく。

(参考)静岡県知事は厚労省を訪問し、マークの全国普及を求める要望書を提出、同省は普及を進めていく考えを示した。12月14日付日経新聞)



福祉・女性の視点からの防災対策を曜日別運行のコミュニティバスを

高砂 朋子(公明党)

問 地域防災力として必要な自主防災組織の立ち上げと共に、高齢者や障がい者などを把握し、安否確認や、移動支援を盛り込んだ個別避難支援プランを作成していくことが重要では。同組織の立ち上げ状況と同プランの作成地区は。

市長 地域防災力を高め、防災、減災につながるよう自主防災組織の立ち上げを進めている。組織率62%、個別避難支援プランは、モデル地区として1地区作成。今後、全域に広げていきたい。

問 災害時に、専門スタッフを配置し、災害弱者に配慮した福祉避難所を増設すべきでは。また、スロープ、手すり、洋式トイレなどの未整備避難所のバリアフリー化を。置の活用も考えては。

市長 福祉避難所の増設は必要。施設を点検し、改修、費も考慮する。

問 市防災会議は25名全員男性。女性を登用し、防災計画に反映すべきでは。女性の視点を取り入れた避難所開設・運営、防災倉庫備蓄の充実を。

市長 女性の視点を取り入れた防災対策は大変重要であり、検討してまいりたい。市内小・中学校26か所に防災倉庫を設置し、約50品目配備。女性の声を活かし充実していく。



小・中学校に設置の防災倉庫

問 バス路線の空白地域や、高齢化の進む周辺地域に対して、曜日別運行のコミュニティバスを導入しては。

市長 大変ユニークな発想。コミュニティバス等が必要な時期に来ている。前向きに検討する。

制裁強化では国保は改善しない 花木センターを市民のために

木村 一彦（日本共産党）

問 平成23年度の国保料は、所得200万円の2人世帯で33万3,340円、所得300万円の3人世帯で50万1,240円でいずれも所得の16%強を占めており、負担の限界だ。市の滞納世帯に対する資格証明書の発行（＝保険証の取上げ）は今年6月時点で545件で発行比率は県内トップクラス。また差押え件数も平成22年度は555件で県内2番目に多い。にもかかわらず滞納世帯は増えている。制裁を強めるだけでは事態は改善しない。保険料を引下げ、減免を拡充することが必要と考えるが。



花木センターと市道岸津敷山線

市長 国保会計の健全化のために国庫負担金の引き上げ等を国に要望している。

市道市建設部長 協し、早期に結論を出していきたい。

問 市の公共工事のうち測量・設計等業務委託の入札は最低制限価格制度がなく「底なし」となっているが。

入札検査室長 一定の成果があると判断すれば制度導入を検討したい。

問 長引く不況のもとで、住宅リフォーム助成制度は、利用者や地元業者等に喜ばれ、経済効果が生まれている。来年度も継続実施できないか。

市長 11月30日現在の申込み件数は630件、交付申請額は約4,600万円、事業費は約7億円になる。市民等から非常に歓迎されているので、今年度の事業内容及び成果を十分検証し、来年度も継続する方向で関係機関と協議したい。

問 外構工事や造園を助成対象に加えたかどうか。

産業振興部長 関係機関と協議・検討したい。

問 リフォーム助成事業の申請手続きを簡素化できないか。

産業振興部長 積極的に見直しを行い、より利用しやすいよう改善したい。

問 中小企業振興に関する新たな条例を制定してはどうか。



その他の質問項目

- ◆県から市への権限移譲について
- ◆市の第4次定員適正化計画の見直しについて

自主財源の確保について

山下 和明（公明党）

問 新たな自主財源の確保に向け、積極的な取組みがなされているが、本市の有料広告掲載事業の広告収入はどうか。

市長 「市広報ほうふ」「パナー」広告電子案内表示機」「リサイクルカレンダー」等で実施しており、広告収入は約249万円となっている。新たな取組みとして「移動図書館車」への広告掲載を検討している。

問 「自動販売機設置に関する入札制度」を検討しているかどうか。

市長 平成19年の地方自治法改正により行政財産であっても空いているスペースを民間に貸し付けることが可能となり、自動販売機の設置についても使用料ではなく、契約による貸付料として入札の競争原理による収入の増が期待できるようになった。他の先例都市では使用料と比べ貸付料が

数十倍になったとの実績もあるようで、平成24年度中に導入できるように進めたい。

問 有料広告事業の推進拡大として、市が保有する「公用車」を活用してはどうか。

市長 約250台の公用車を保有しており、広告掲載が可能な車両の選別や広告主の募集方法等の検討を加えており、準備が整い次第、実施したい。提案の「自主財源の確保」については、歳入の根幹をなす市税収入の好転が期待できない状況で、市が保有する財産を有効に活用し、それを新たな財源の確保につなげるものであり、大変重要と認識しており、更に広告事業の推進と拡大に取組んでいきたい。

その他の質問項目

- ◆防府市公設青果物地方卸売市場の活性化について

開発行為による排水対策 北部地域の振興策

弘中 正俊(明政会)

問 市街化調整区域内で小規模開発が行われ、まとまればかなりの面積になる。調整区域内の排水先の多くが用水路で、下流域では排水能力が不足し、浸水被害が発生するが。

土木都市建設部長 市街化調整区域では開発区域の排水は用排水路への接続が多い。開発行為が集まれば、下流では溢水することもあり、重要課題である。検討したい。

問 開発許可の権限の移譲により、市独自の審査基準を検討されたか。

土木都市建設部長 審査基準は継続性が必要であり、山口県の運用基準で審査をしている。

問 小規模開発では調整池設置が必須ではないが、開発がまとまれば用水路の排水能力が不足するか。

市長 市街化調整区域内の開発は、下流域で排水は深刻な問題になってい



小規模開発地

る。どのようにすれば良いか協議をしたい。

問 北部地域の振興と活性化に田舎の駅をつくり、地元で採れた野菜、生活用品の販売をすれば、就労の場の確保になる。行事の多くが市街地で開催されている。北部地域で開催を。

市長 北部地域はJA右田・小野支所と民間の直売所が2カ所あり、新たな直売所の開設は地元農産物の供給量から困難と思われる。各種の行事は歴史や関係者との協議の結果で、場所の変更は難しい。北部地域の活性化にはどのような行事が開催可能か検討したい。

国体後の選手育成ほか・事業所等の振興策・自然エネルギー

重川 恭年(民意クラブ)

問 山口国体を一過性に終らせることなく、今後に繋げる施策展開をすべきと考えるが如何か。

教育部長 県がスポーツ振興条例の策定を進めており、県スポーツ戦略プランに協力し、関係団体と連携し、選手育成等に努めていきたい。

問 国体で培った民泊協力会などの市民力を今後の市民協働、共助に活用させる努力をすべき。

教育部長 当然ながら今後の行政と市民の協働、共助の施策を実施する中で考えていく。

問 疲弊する市内の事業所、企業に対する新たな視点からの振興対策を打出すべきだと考えるが如何か。

産業振興部長 各種奨励制度の拡充を計ってきたが、対応不足の点もある。秋に実施したアンケート結果を基に、直接中小企業等を訪問し、要望を聞

いて対策を検討する。

問 経営する側は待ったなし、対応を急いでほしい。

産業振興部長 他市などの先駆的な制度等も調査し、反映させていきたい。

問 東日本大震災と福島原発事故で自然エネルギーが注目されている。家庭用太陽光発電システムの普及と設置補助制度の拡充を求めたい。

市長 再生可能エネルギーの活用は大変重要であると考えている。太陽光発電システムの助成制度は当面現行水準を維持していきたい。



事業所の振興対策を

下水道管の接続について

河杉 憲一(七日会)

問 下水管への接続状況また未接続の要因はどのように考えているか。

管理者 供用開始区域内での接続世帯数は、約23,000世帯で、供用開始後3年以上経過した未接続世帯数は、2,600件と把握している。また、未接続の要因については本年11月にアンケート調査を行い、経済的な理由が65%で一番多かった。

問 下水道の使用料は、水道の使用量によって決まるので、水道の使用量が増えれば下水道の使用料も増えてくる。しかし、家庭菜園や庭への散水、また池の水など下水に流さないものまで下水道の使用料に反映されることについてはどうか。

局長 全国の自治体の8割以上が水道の使用量による算定方法を取っている。またその中で65%以上が使用量が多くなれば割高になる通増制になっている。現在の料金は、平成11年に定められたもので今後改定を行うときは、検討したい。

問 下水管に接続するための排水設備工事には、多額の費用が掛かる。接続率向上のため補助制度を設けてはどうか。

局長 今までに接続された方との公平性や財源などの課題もあり、現時点では、導入は難しい。

要望 公共下水道事業は生活環境や自然環境を守っていくのに不可欠な施設である。それは市民の皆さんが活用してこそ初めて効果が現れるもので、市民の目線に立つて取り組んで行かれることを要望する。



浄化槽設置の風景

介護保険料—大幅値上げへ 文化財郷土資料館の充実を

田中 健次（市民クラブ）

問 次期介護保険事業計画は、介護保険法改正に伴いどう変わるのか？

市長 新たな「定期巡回・随時対応型訪問介護看護」「複合型サービス」は、各々の事業所を計画しています。

問 待機者の多い特別養護老人ホームは何床増えるのか？

健康福祉部長 計画の3年間で新・増設により147床増える計画です。

問 介護保険料は、全国的に5千円超になると聞いているが、どうか？

健康福祉部長 基準月額3,989円が9000円程度上がる予定です。

意見 2割以上の値上げとなり、介護を保障するのが無理な状況。制度の抜本的改革が必要だ。

問 文化財郷土資料館の展示スペースを広げるべきでは？

教育部長 平成24年度が開館5年目で、常設展示



の展示替えが必要となり、この機会に展示内容の充実、スペースの拡大等を考えます。

問 資料収集方針をたて、計画的な資料収集を進めるべきでは？

教育部長 歴史的資料は、市民への呼びかけや所有者への寄贈のお願い等で、充実を図ります。

問 寄贈だけでなく、予算措置が必要では？

教育部長 有償での資料の収集は考えていません。

市長 ふるさと納税の寄付の活用等を検討します。

◆ その他の質問項目
「義務付け・枠付け改革」への市の対応

中学校で越境入学！規定違反の是正を 企業誘致の活動旅費は1万8200円

三原 昭治（民意クラブ）

問 小・中学校の通学区域に関する規定で、児童生徒の住所地に属する学区とあるが、中学校で部活に係わる越境入学があるというが実態はどうか。

教育部長 10月に通告があったので、学校を通じて指導している。個別的には調査はしていない。

問 規定は守るためであるルールであり、早期対応を図るべきだ。

教育部長 年度途中では難しいので、年度区切りでと考えている。

問 規定を遵守している地元生徒は不条理に對し、不信と不満を抱いているが、その実態をどう思うか。

教育部長 望ましくない行動は、社会に対する不満、道徳意識の薄れにつながり、正しい対応をするように指導する。

問 正しいルールによる、毅然とした対応を。

教育部長 正しいルールに

基づき、きちんと指導していく。

問 低迷する景気対策として積極的な企業誘致を行うべきだが、22年度の誘致の活動費は。

総務部長 出張旅費1万8200円と、県への負担金4万円。

問 防府市に本社を置く王子ゴム化成が、山口市に新規事業の工場建設を決定したと、同市の広報紙に記載されているのを見て愕然とした。また、同じく防府市に本社のある丸久の青果部門もすでに山口市に移行しているが、理由分析や引き留め策は講じたのか。

総務部長 手狭であることが理由。

問 企業立地推進室を課に格上げし、専任職員を配置して本腰を入れて取り組むべきだ。

市長 来年度は専任職員を1人置き、体制充実を図りたい。

市民の足の確保（野島航路・「ミニユニティバス等）について

土井 章（明政会）

問 野島航路の渡船は、11月23日にエンジンが停止、座礁し損傷が大きく廃船とされ、現在、老朽船「のしま」で運行している。①早急に「代船」を手配すべき。②新船建造に向け来年度予算は？

③新船は、小型化しない事。④ガレキ、資源ゴミの運搬のため軽トラ積載可能船とすること。⑤野島の活性化のため、フィッシングパークの整備を。

市長 ①国等を通じ、探している。②（有）野島海運とJRTTの共有建設を考えている。③船舶の安全性と運航の安定性が確保できる船舶を建造。④島民の快適な生活環境に資するよう配慮。

⑤建設や運営に多額の経費を要するので難しい。

問 バス路線について、①向島小田く防府駅線の一部を住民の要望の強い経路に変更を要請しては。②山口市は、「ミニ

ユニティバスやグループタクシーなど、縦横無尽に市民の足の確保を図っている。

また、高齢者や障害者等の外出支援として、バス運賃助成制度やおでかけサポート事業を実施。防府市も実施しては？

総務部長 ①路線変更により、病院通院者等の既存利用者の利便性が損なわれるため、実現していない。②徳山高専にバス路線の在り方の研究を依頼している。この中で「ミニユニティバスも研究する。

健康福祉部長 ②高齢者等へのバス運賃助成は相当多額の財源が必要となる為、調査研究したい。



代替船「のしま」

景気をいい加減、何とかして！ 子ども総合公園の設置を！

松村 学（明政会）

問 雇用を増やすために企業を積極的に誘致して欲しいが、職員体制、支援制度、用地が確保されておらず、山口・宇部は

かなり整えており、防府より優位に立っているが、来年度、大きく前進して欲しい。対策は？

市長 職員体制は、専属職員を1名配置し、「中小企業の経営及び雇用等

について」のアンケート結果を基に支援策を検討する。企業誘導用地については、改めて検討する。

意見 思い切った施策をしないと他市に勝てないし、景気も回復しない。

問 今年度、市の景気対策で始めたリフォーム助成制度の成果と今後の見通しは？

市長 申し込みは6300件で、7億円の工事結果となった。来年、事務の簡素化など使い勝手の良い制度にし、継続したい。入札参加資格がなく

てもできる小規模事業者登録制度を導入し、大規模工事に地元業者が下請けできるよう入札制度を改められないか？

市長 30万円未満の工事で適用し、市内業者の活用を評価するよう入札制度を改め、多角的に検討する。

問 小さな子供たちが遊ぶ公園がないとよく聞くが、山口の維新公園のような遊具がいっぱいの全年齢を対象にした子ども総合公園を設置できないか？

土木都市建設部長 今後、6歳以下の子供たちも安全に遊べる遊具を設置し、幅広い年齢層に対応できる公園づくりを検討する。



山口市維新公園の総合遊具

常任委員会の報告

総務委員会

●一般会計補正予算

地域主権推進一括法の施行により、法律や条令について国の地方に対する義務付け、枠付けが見直されます。これまで国が定めていた基準等を、今後は、市が定めることができるというもので、その見直し作業に係わる補正が計上されました。これに伴い「市が基準を定めるに当たり、市民サービスの低下がないよう地域の実情や市民ニーズを踏まえて検討を」との意見があり、市では「内容を見ながら、必要に応じ市民の意見を聴いて対応したい」と答弁がありました。

●その他の質問

事故を起こしたニューのしまの廃船にかかる経費について、「サルベージ費用は確定していないが、相当額が必要となる。その他、タグボート、オイルフェンス、解体費用に約830万円かかる見込み」との答弁がありました。また、学校給食配送業務（直営意見）に関連し、職員の事故件数が平成10年度から13年間で588件との報告があったことに対し、その内容についての質問で、「平成18年度にヒョウが降って自動車に傷がついたもの約100件のように自然災害等により傷ついたものも含まれている」との答弁がありました。

教育民生委員会

●防府市環境基本計画

この計画は平成24年度から33年度までの10年間で、環境状況等の変化により中間年度での見直しも視野に入れた計画となっています。当計画では地域環境や自然環境、住環境などを含め地球環境の保全まで言めた多岐にわたる内容となっています。

●第2次防府市生涯学習推進計画

この計画は平成24年度から33年度までの、生涯学習のまちづくりの目標を実現していくための施策が、計画的、組織的に記述されているものです。

いずれの計画も審査の過程で、推進する上で財政措置の文言を修正するなどして承認されました。

●一般会計補正予算

愛光園の作業棟解体に関することや、児童生徒心電図検査に関すること、子ども手当と保育料や学校給食費徴収の関係などを審議しました。

●その他の質問

東日本大震災で発生した「処理の防府市の方針、医療費限度額認定制度の普及、学校給食の配送業務委託などについての質疑がなされました。

産業建設委員会

●一般会計補正予算

補正の主なものは、今年の梅雨で崩壊した林道地吉支線の災害復旧費、上り熊農事組合法人へのタマネギの生産機械導入への補助金（総事業費・1600万円、補助率・県3分の1、市3分の1、事業主体3分の1）、天神植松線の用地買収費等です。

●青果市場事業特別会計補正予算

青果市場の施設の老朽化に伴う修繕補修費140万円が計上されています。

●その他の質問

劣化や水滴・凍結等で見えにくいカーブミラーへの対応についての質問に、「劣化したものについては、地元の方などの通報や道路パトロール等により取り替えを行っているところです。また、水滴・凍結を防止する仕様のものへの取り替えや新設についても、今後対応してまいります」との答弁がありました。

視察報告

総務委員会

11月7日と9日に、石川県加賀市、兵庫県たつの市の行政視察を行いました。

●総合窓口サービス（ワンストップサービス＝加賀市）

加賀市では市民の視点に立ち、最大限の行政サービス提供にと「窓口サービスの一元化」「ワンストップサービスの実現」を目標に掲げ平成15年4月から市民課の名称を「窓口課」と改名し、ワンストップサービスを開始しています。「お客様を動かさない」をテーマに、生まれて死ぬまでの手続きを本庁1階で行い、市民の要件に全て対応しています。担当職員さんは「常に自己能力の開発に努力し、市民（来庁者）のことを一番に考える窓口の実現に向けて今後も改善を続けたい」と話されています。

●霞城館（人物資料館＝たつの市）

霞城館は、龍野の文化人の足跡をたどる資料館です。「赤とんぼ」の作詞者として名高い象徴派詩人の三木露風、哲学者の三木清、反戦・田園詩人の内海信之、一高賛歌「嗚呼玉杯に花うけて」作詞者の矢野勘治ら4氏に関する著作や遺品などの資料を展示紹介しています。資料数約1万点（うち展示資料数約2千点）

を展示しています。運営上の課題として経費面を上げられていたましたが、建設費をはじめ、運営費においても地元企業や市民の理解や協力が大きいと話しておられました。

教育民生委員会

11月7日から9日に、愛知県高浜市、静岡県浜松市、岐阜県各務原市を行政視察いたしました。

●地域福祉計画（高浜市）

「まちづくりは人づくり」との理念に基づいて、住民参加を最大のポイントに、社会福祉協議会と連携し、幅広い年代層の参加を得て、計画から実務に向けての地域福祉のあり方を学びました。

●浜北温水プール（浜松市）

子どもから高齢者まで、幅広い世代を対象とした施設で、競泳用プールやレジャー性のあるプール、更に健康増進目的などの設備を持つ屋内温水プールで、平成16年度に完成。総事業費7億7千万円、建築面積2,000㎡の地上1階、地下1階構造。障害者等にも配慮し、随所にバリアフリーを採用しています。運用は指定管理者制度を採用、年間管理料約3,000万円です。

利用者は平成22年度実績で、大人約5万人、小人35,500人となっています。

●中山道、鶴沼宿脇本陣（各務原市）市の歴史的宿場町の一部再生として、国交省旧まちづくり交付金を活用、脇本陣を2億円で、その他街道筋を含め総事業費13億円（補助率40％）で整備していました。

産業建設委員会

11月7日から9日に、広島県尾道市、香川県高松市、愛媛県今治市を行政視察いたしました。

●食と農のまちづくり（今治市）

当市は、1983年の学校給食への有機農産物の導入、地元食材の優先使用、1988年に「食糧の安全性と安定供給体制を確立する都市宣言」を行い、有機農業の振興、地産地消の推進、食育の推進に取り組んでいます。また、この取り組みを踏まえ、都市宣言の内容を着実に実行するための施策を打ち出すものとして条例を制定しています。

1983年以後、学校給食の食材には、今治産の特別栽培米（農薬・化学肥料・当地比50％減）125トン（栽培面積25ha）を使用し、パンについても、小麦の作付面積は、2001年1.2haであったのが、現在では、15ha（6トン）まで拡大。野菜についても、品目は少ないながら、農薬・化学肥料不使用の特別栽培農産物の供給も増えています。

総合交通体系調査 特別委員会の報告

平成23年10月20日に総合交通体系調査特別委員会を行いましたのでその概要をお知らせします。

行政の概要説明

市民の利便性を向上する目的で、バス路線を見直し、既存の潮合経由小茅線のうち4便を開作経由小茅線として、既存の中浦線のうち5便を振り替えて晒石經由小茅線として2路線を新設しました。その結果、平成22年度の利用者は、昨年度に比べ、2路線合わせて2,785人の増となりました。

生活交通利用促進月間で、様々な取り組みを実施しました。その中で、バス半額券の利用者は、前年度の倍の2,688枚となっています。

今年度の主な取り組みとして、徳山工業高等専門学校に防府市のバス路線のあり方の研究をお願いしており、今年度末には研究成果をいただける予定です。その成果をもとに平成24年度に関係者で防府市のバス路線のあり方について検討します。

バス利用者の推移は、平成20年度が47万人、平成22年度は38万6千人となっており、平成25年度の目標の45万人の達成は難しい状況です。

委員会委員の主な質疑、意見及び要望

久兼でフリー乗降というものをやっているが、ほかの地域でもできないか。↓向島の入り口から小田方面の間は可能ではないかという検討もしています。

路線バスの赤字解消も大事だが、地球環境や高齢者社会に対応するまちづくりの観点から、高齢者等にアンケートするなどして、本当に市民はどういうことを望んでいるのかということ把握してほしい。

バス停の利便性の向上あるいは周辺の安全対策をすることが必要ではないか。

高齢者の中にはバスカードのことを知らない方もいるので、もっと啓発活動をすべきではないか。

議会日誌

11月

- 2日 議会改革推進協議会
- 7日 常任委員会（総務、教育民生、産業建設）
行政視察（～9日）
- 10日 議会改革推進協議会
- 11日 議会概要報告会（野島）
- 14日 産業建設委員会（所管事務調査）
議会改革の視察受け入れ（埼玉県深谷市）
- 15日 教育民生委員会
- 16日 議会改革の視察受け入れ（宮崎県延岡市）
- 17日 議会改革の視察受け入れ（周南市）
- 22日 議会改革推進協議会
- 24日 教育民生委員会
議会懇談会（教育民生委員会）
・医療問題に関する防府支部役員との意見交換
- 25日 議会運営委員会
全員協議会
・防府市環境基本計画
・防府市生涯学習推進計画
勉強会
・平成23年度補正予算 ほか
- 28日 山頭火ふるさと館検討協議会
空き家等対策協議会
- 30日 12月定例議会開会
全員協議会
・空き家等対策
広報編集委員会

12月

- 1日 議会改革推進協議会
- 7日 本会議（一般質問）
- 8日 本会議（一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）
全員協議会
・予算委員会等
- 12日 本会議（一般質問）
議会運営委員会
- 13日 広報編集委員会
- 14日 議会運営委員会
総務委員会
- 15日 教育民生委員会
- 16日 産業建設委員会
- 21日 議会運営委員会
- 22日 12月定例議会閉会
全員協議会
・防府市景観計画
勉強会
・三田尻公園
広報編集委員会
- 27日 教育民生委員会（所管事務調査）

1月

- 10日 議会改革推進協議会
広報編集委員会
- 11日 教育民生委員会（所管事務調査）
- 12日 議会改革の視察受け入れ（大阪府岸和田市）
- 13日 教育民生委員会（所管事務調査）
- 16日 総合交通体系調査特別委員会行政視察（～18日）
- 18日 議会改革の視察受け入れ（沖縄県沖縄市）
- 19日 議会運営委員会
空き家等対策協議会
山頭火ふるさと館検討協議会
- 20日 議会改革推進協議会
教育民生委員会勉強会
- 23日 議会運営委員会
観光振興対策調査特別委員会
広報編集委員会
- 24日 総務委員会現地視察
議会改革の視察受け入れ（滋賀県草津市）
- 25日 観光振興対策調査特別委員会行政視察（～27日）
- 26日 地域活性化調査特別委員会
議会改革の視察受け入れ（熊本県合志市）
- 30日 臨時議会
議会概要報告会
山頭火ふるさと館検討協議会
- 31日 議会モニターと市議会議員との意見交換会
勉強会
・（仮称）防府市民参画及び協働の推進に関する条例骨子（案）に関する提言書 ほか

3月定例議会の予定

- 2月24日 本会議（開会）
- 27日 本会議（市長施政方針演説等）
- 28日 常任委員会（総務委員会、教育民生委員会、産業建設委員会・現年度分）
- 3月 1日 本会議（現年度採決）※午後1時開会
- 5日 本会議（一般質問）
- 6日 本会議（一般質問）
- 7日 本会議（一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）
- 12日 予算委員会（全体会）
- 13日 常任委員会・予算委員会分科会（総務委員会）
- 14日 常任委員会・予算委員会分科会（教育民生委員会）
- 15日 常任委員会・予算委員会分科会（産業建設委員会）
- 21日 予算委員会（全体会・採決）
- 26日 本会議（閉会）

会議の開会時刻は、午前10時です。
なお、日程及び開会時刻は変更になる場合があります。
詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL 25-2182

編集後記（表紙の説明）

今年発行の議会だよりは、昨年に続き地域のお祭りや催しを取り上げてみます。

写真は西浦黒山山麓の金切神社です。金切神社は毛利藩による西浦新開作の干拓事業の鎮守として建立されました。この事業は、1822年12月から築堤工事に着手し、1824年2月に完成しました。新開作の先人たちは、荒れた土地を幾多の自然災害と闘いながらも豊かな土地に築き上げてきました。神社では、毎年8月10日に風を鎮め、五穀豊穡を祈願する風鎮祭、10月の第1日曜日に秋の総りを感じする例大祭が行われています。

金切神社の総代や農家を中心とした氏子の有志は、風鎮祭にちなみ、先人たちがたくましく生きたその生き方を学び、感謝し、同時に豊年万作を祈る何か具体的な方法はないかと思索し、平成17年12月に「創作・風鎮神楽会」を発足させました。この会は金切神社のお祭りは勿論、要望があれば各地に出向き神楽を公演しています。二部、防府市史及び西浦文化研究会発行の「ふるさと西浦」を引用

今年、次の新メンバーで編集作業を行うこととなりました。
よろしくお願ひ申し上げます。
議会広報編集委員会

- ◎藤本和久 久保玄爾
- ◎高砂朋子 重川恭年
- 今津誠一 弘中正俊
- (◎)委員長、(○)副委員長